



1/4 今年、最初の能登被災者支援まわり 🍌 お昼は馬糞で「あおさ雑煮」をごちそうに 🍀 新しい仮設住宅もご紹介頂きました。今年も能登に寄り添います 🍀



1/5 新春互例会 1/8 能登半島地震避難者じんのびカフェ 1/9 市消防出初式 1/9 ひとり親応援子ども食堂&三道山スクール 1/10 二十歳のつどい



1/13 能登被災地 見守り訪問 1/15 浜小学校福祉体験授業 1/16 障がい世帯子ども食堂 1/17 みんなの街フェス in 能美



1/18 能登地震市内避難者カフェ&パントリー 1/19 能登被災地 見守り支援 1/21 能登半島地震避難者じんのびカフェ 1/29 市内子ども園視察



1/31 三道山子ども食堂生活応援弁当 2/1 珠州市上黒丸仮設住宅炊出し&見守り訪問



2/4 能登半島地震避難者じんのびカフェ 2/6 ひとり親応援子ども食堂&三道山スクール 2/11 郷友会「奉祝の会」 2/13 商工会女性部から子ども食堂へバレンタインチョコのご寄付



2/15 NPO えんがわ総会 2/15 能美市インドアテニス大会 2/18 能登半島地震避難者じんのびカフェ 2/20 障がい世帯子ども食堂



3/1 能登地震 市内避難者カフェ&パントリー 3/29 珠州市若山公民館の餅つき大会に応援 🍙 ご寄付頂いた能美市のお米を景品にした抽選会も開催 🍀

思いが叶う能美市に!



～能美市政報告～ 絆 きずな

能美市議会議員 たなか さくじろう 田中 策次郎



4/3 ひとり親応援子ども食堂 4/12 珠州市折戸仮設住宅で炊き出し

4/8 能美市内避難者 お花見じんのびカフェ 🌸



4/14 能登見守り訪問 4/16 能登半島地震避難者じんのびカフェ 4/17 石子町いきいきサロン 4/17 三道山子ども食堂



4/19 亀田豊県政報告会 4/19 能登スマイルプロジェクト加々美淳さんからご寄付&ミニライブ 4/20 福島武山一門展



4/21 能登見守り訪問 ぐるっと21ヶ所 🚗 仮設住宅や集会所での人の集まりを応援 たくさんの方とお話をさせて頂きました 🍀



4/20 子ども食堂から生活応援弁当 4/21 能美市赤十字奉仕団チーム20総会 4/25 能美市国際交流協会総会 4/26 「プロゲキ」観劇



3/3 寺井高校卒業式



3/4 能登半島地震能美市内避難者「じんのびカフェ」



3/6 ひとり親応援子ども食堂&パントリー



3/7 小松基地司令 野村信一 空将補の招待で能登半島地震避難者 24 名をお連れして「小松基地ふれあいコンサート」へ じんのびカフェ遠足 素敵な演奏を招待席最前列で聴かせて頂きました。基地司令から避難者さんへ素敵なプレゼントも受取り、皆さん大喜び 「地震発災時から自衛隊の方々大変お世話になった」と口々に感謝の言葉を伝えていました



3/12 寺井中学校卒業式



3/13 三道山子ども食堂から社協さんへ生活応援弁当



3/14 全日本競歩能美大会50回記念歴代優勝者銘板披露



3/15 能登地震 市内避難者カフェ&パントリー



3/18 坪野町いきいきサロンで防災のお話



3/17 粟生小学校卒業式



3/18 能登半島地震能美市内避難者「じんのびカフェ」 湯谷の焼饅頭のご寄付 部活地域移行ソフトテニス体験会



3/21 能登被災地 見守り訪問 仮設住宅や集会所 14 カ所を回り、途中で品切れしましたがたくさんの方にお会い出来ました。お昼は馬糞でアオサそうめん



3/27 障がいのある方の世帯対象の子ども食堂 春休みパントリーも開催 能美ライオンズクラブ様よりブロッコリーと人参 アイミルク様より牛乳のご寄付

### ●基金の取り崩しと今後の対応について



近年の決算によると、一般会計の基金残高は、令和6年度末には約9億円減少し、75億1,000万円となっている。また、**令和8年度当初予算案においても財政調整基金は、13億円を繰り入れる予算となっている。**今後、老朽化する公共・生活インフラの整備、市の安定した事業を推し進めていくための財源の確保などの課題に対し、今後の基金の維持・積み立て等についての対応を問う。

#### 答 井出 敏朗 市長

基金の取崩しは災害対応の教訓を踏まえ、防災対策や公共施設の強靱化、子育て支援など市民の安全安心を最優先に施策を進めた結果である。一方で、物価高騰や施設老朽化により基金残高は減少し、今後の大型事業に向けた財源確保が課題となっている。このため行財政改革を推進し、基金に頼らない財政運営を目指します。あわせて減債基金の積立や企業立地促進基金の補充を検討し、**財政調整基金は標準財政規模の2.0%維持を図る。今後も持続可能な財政運営に努めていく。**



能美市議会 YouTube 田中策次郎 3月一般質問

### ●スマートインクルーシブシティ構想について

令和8年度のスマートインクルーシブシティ推進事業について、具体的な事業内容とこれまでの評価と課題を踏まえた上で、**今後の事業展開とスマートインクルーシブシティ能美の構想について問う。**

#### 答 井出 敏朗 市長

令和8年度は地域未来交付金を活用し、コミュニティサポーターの活動拡大とデジタル公民館の高度活用により新たな価値創出へ移行する。実績ある人材を核に行政・地域・企業が連携し、マルシェとスマート物流やライドシェアなど市民発意を起点にデジタルを地域に実装。人口減少下でも生活基盤を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する。

**意見** スマートインクルーシブシティは大きな交付金を活用している、この事業については市民にも大変定着をしているものとなっている。市長は、しっかりと交付金の獲得をしながら継続性を持ったものにしてもらいたい。

ゼロカーボンシティの答弁の中にあつた若者の政策参加について、事業の参加についてはいろいろと活動しているという事だが、今後は、若者の声をしっかりと受け止め、それを環境政策に反映できるような仕組みづくりを進めてほしい。

### ●カーボンニュートラル推進について

**2050年実質ゼロに向けた具体的なロードマップは十分なのか。**カーボンニュートラルは宣言することが目的ではなく、重要なのは、市民生活を守りながら地域経済を伸ばし、次世代への責任を果たすという三立をいかに実現するかである。**本市の脱炭素政策が理念先行ではなく、市民が効果を実感できる実効性あるものとなっているのか、市長の覚悟を問う**

#### 答 井出 敏朗 市長

カーボンニュートラルは暮らしの質向上や事業継続に不可欠であり、防災の観点でも重要と考える。一方、コストや効果の見えにくさが課題である。市は啓発や支援情報の提供、協働の場の拡充、再エネ導入などを進め、市民と事業者が自分事として持続可能な地域づくりに取り組むことを目指していく。

### ●市民生活と両立する脱炭素施策について

市民生活と両立する脱炭素施策である太陽光発電・蓄電池等への補助や断熱改修など住宅省エネ支援制度の利用状況と課題を問う。

#### 答 上戸 雄彦 市民生活部長

本市はゼロカーボンシティ実現に向け、市民・事業者・行政が連携し、再生可能エネルギー導入と省エネを推進している。**太陽光発電や蓄電池の導入は増加し、自家消費型や災害対策としての需要が高まっている。**一方、ZEHはコスト面から普及が限定的で、断熱改修は広く活用されている。今後は国の制度動向を踏まえ、補助制度や省エネ住宅の経済性・快適性・防災性を丁寧に周知し、**環境と家計に優しい住まいの普及を図る。**



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2  
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209  
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



田中策次郎ホームページ

ホームページ

ホームページ

ホームページ

ホームページ

ホームページ

ホームページ



田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

田中策次郎FBページ

議会 YouTube 配信

意見交換会や  
本会議の中継を  
発信しています

